

令和 6 年 3 月 25 日

新潟市小須戸温泉健康センター 花の湯館 令和 6 年度事業計画

新潟市長 中原 八一 様

新潟市小須戸温泉健康センター花の湯館
指定管理者
株式会社 関越サービス
代表取締役 小川和宣

令和 6 年度事業計画

1. 運営

目標値
集客計画
営業時間
休館日
年末年始

2. 管理

組織・人員体制

3. その他

自己評価の手法

4. 収支予算

1. 運営

■目標値

年度	当初目標値（人）	修正目標値（人）	年間入館者数（人）	前年対比
平成 24 年度	-	-	88,788	-
平成 25 年度	-	-	79,414	89.4%
平成 26 年度	-	-	86,694	109.1%
平成 27 年度	83,000	-	95,813	110.5%
平成 28 年度	87,000	97,000	108,068	112.8%
平成 29 年度	92,000	108,500	113,997	105.5%
平成 30 年度	108,500	-	126,911	100.5%
平成 31 年度	99,046	105,000	121,617	95.8%
令和 2 年度	103,040	72,800	79,569	65.4%
令和 3 年度	105,685	89,200	89,912	112.9%
令和 4 年度	106,500	-	95,429	106.1%
令和 5 年度	89,000	-	86,775（見込み）	90.9%
令和 6 年度	95,500	-	-	110.0%

令和 5 年度の年間入館者数の目標値は 89,000 人（前年対比 93.2%）でしたが、結果は 86,775 人（前年対比 90.9%）となる見込みです。

令和 5 年度より障がい者の減免措置を無料入館から 300 円へと改定したことで、当初は大幅な入館者数減少（障がい者の年間利用 3,100 人程度）を想定しておりましたが、料金改定後も引き続きご利用してくださる方が多くいらっしゃいました。結果として、障がい者のご利用は令和 4 年度の約 48%、年間で 7,230 人となる見込みです。

しかし、5 ヶ月にわたる外壁修繕工事による露天風呂閉鎖及び浴室ガラス目隠しが常連客、特に高齢の方々の足を遠のかせました。また元旦の能登半島地震の発生により、新潟市内でも被災された方が多くいらっしゃいました。そのため、繁忙期にも関わらず外出を自粛する傾向があり、入館者数に大きく影響したと考えております。

令和 6 年度は震災からの復興が進むにつれて人々が外出を楽しむようになり、入館者数は徐々に回復してくるものと見込んでおります。外壁修繕工事完了後の令和 5 年 12 月には、障がい者の人数減があったにも関わらず昨対比 103%の入館者数がありました。これはイベントを開催することで新規客を呼び込み、リピートに繋がり、結果として入館者数が増加していくことを示しています。

以上のことから、令和 6 年度の目標入館者数は令和 5 年度対比 110%の 95,500 人に設定いたします。

■集客計画

年度	年間入館者数(人)	小人(人)※小学生	小人割合	前年対比	H26 対比
平成 25 年度	79,414	2,109	2.7%	-	-
平成 26 年度	86,690	2,244	2.6%	106%	-
平成 27 年度	95,813	3,190	3.3%	142%	142%
平成 28 年度	108,068	4,915	4.5%	154%	219%
平成 29 年度	113,997	5,513	4.8%	112%	245%
平成 30 年度	126,911	5,709	4.5%	103%	254%
平成 31 年度	121,617	6,691	5.5%	117%	298%
令和 2 年度	79,569	3,650	4.5%	54.5%	162%
令和 3 年度	89,912	4,707	5.2%	128%	209%
令和 4 年度	95,429	5,263	5.5%	111%	234%
令和 5 年度	86,775 (見込み)	5,510 (見込み)	6.3%	104%	245%

令和 5 年度は障がい者料金の改定や外壁修繕工事などの影響で全体の入館者数は昨年を下回ったものの、幼児と小学生の入館者数は昨年よりも多くなる見込みです。

これは、子ども連れのお客様が露天風呂閉鎖中にも関わらず、従来通りに来館されたことを示しています。特に、夏休み期間中の 8 月には幼児が昨年度比で 117%、小学生が昨年度比で 114%の入館者数となりました。子どもは露天風呂に入ることよりも、超アヒル風呂や積み木風呂などのお風呂イベントを好む傾向にあるため、工事の影響が少なかったのだと考えられます。実際にお客様アンケートでも、「子どもが花の湯館に行こうと言う」、「子どもたちも花の湯館が大好き」とのコメントがいくつも寄せられております。

令和 6 年度も子どもから大人まで、多くのお客様に楽しんでいただけるイベントを開催し、集客に繋げていきます。

また、SNS や Web 広告でのイベント情報の発信、トキっ子くらぶへの掲載など、子ども連れでも安心して来ることが出来る温泉としての周知活動にも力を入れ、新潟市内だけでなく近隣市町村からの新規入館者の開拓や観光客の呼び込みも行っていきます。

以前より地域の皆様に様々なご支援をいただいておりますが、更に地域と繋がり、地域に貢献できる施設となるべく、令和 4 年度からは花の湯館スタッフが矢代田小学校の学校運営協議会に参加させていただいております。小学生の職場見学受け入れはもちろん、令和 5 年度の地域の祭りでは子どもたちと一緒に露店を出店するなど積極的に地域との交流も行いました。

その他にも、あきはクエスト、秋葉区ひな・お宝めぐり、小須戸商工会のひな・町家めぐり等の企画などにも参加させていただきました。令和 6 年度も引き続き地域の団体と連携していきたいと考えています。

<集客イベント>

- ・毎週日曜日の「超アヒル風呂」
- ・毎週土曜日の「積み木風呂」
- ・敬老の日の「長生き風呂」
- ・お正月の「でっかい年賀状風呂」
- ・バレンタインデーの「チョコレート風呂」「チョコ入浴剤ゼリー配布」「チョコパック」
- ・ハロウィンイベントの「目玉型入浴剤ゼリー配布」「コスプレ衣装貸し出し」
- ・冬至の「ゆず風呂」
- ・お盆の帰省に合わせた「供養泉」
- ・日本酒風呂、酒粕風呂、酒粕パック、試飲販売会
- ・毎週土曜日の泥パック配布
- ・ボジョレー解禁「ワイン風呂」
- ・里山を紹介する「森林風呂」
- ・受験生応援企画「いい予感風呂」
- ・月曜午前中早起きポイントデー
- ・【夜トク】平日 17 時以降ポイント 2 個
- ・パパママ銭湯
- ・毎月 26 日の「風呂の日ポイント」
- ・母の日イベント
- ・父の日イベント
- ・子どもの日の「菖蒲湯」
- ・ボールが浮かんだ「カラフルボール風呂」
- ・犬の日「愛犬自慢風呂」、猫の日「愛猫自慢風呂」
- ・11 月 23 日の「いい夫妻の日ポイント」
- ・矢代田小学校の卒業生をお祝いする「パイナップル風呂」
- ・子ども向け謎解きイベント
- ・子ども向け〇〇探しイベント
- ・クスッと笑える短歌

<割引関係>

- ・新潟日報「日帰り温泉パラダイス」掲載
- ・新潟県市町村職員共済組合の割引券利用

- ・商工会貯蓄共済福利厚生事業の割引券利用
- ・三条市勤労者福祉共済割引
- ・福利厚生倶楽部会員特典
- ・東日本大震災被災者の割引
- ・ポイントカード
- ・家族の日割引
- ・夏休みこども割引
- ・成人の日お祝い新成人割引

■営業時間

10：00～21：00

■休館日

毎月第2水曜日

休館日の作業内容

館内設備メンテナンス、部門ミーティング、全体ミーティング
イベント会議（魅力会議）、スタッフ研修

■年末年始

平成26年度までは12月30日から1月2日まで休館日となっております。年末年始に関して12月31日のみを休館日としています。

年末年始の入館者数は、新型コロナウイルス流行による緊急事態宣言が発令されていた令和2年度には減少したものの、規制のなくなった現在では帰省によるニーズが見込めるため、引き続き12月31日を休館日、1月1日を営業日とします。

2. 管理

■組織・人員体制

本社のバックアップ体制のもと、利用状況に応じ適切な職員数を配置し、職員の教育、研修を行い、公共施設を運営するにふさわしい一定レベル以上の品質を確保できるよう努

めてまいります。

人員

マネジャー	1名
フロントスタッフ	3名
設備管理スタッフ	7名
クリーンスタッフ	9名

3. その他

■自己評価の手法

- ・アンケート
- ・ISO9001 を活用した PDCA サイクル
- ・スタッフミーティングによる「お客様からの声」の吸い上げ
- ・教育訓練書

4. 収支予算

令和6年度新潟市小須戸温泉健康センター収支計画書

収 入

(単位：千円)

項 目	金 額	内 容
入浴収入	44,394	利用料金、回数券販売
新潟市からの指定管理料	33,140	指定管理委託料
その他収入	3,807	小部屋使用料、貸タオル、館内着
収入合計	81,341	

支 出

(単位：千円)

項 目	金 額	内 容
人件費	21,230	
需用費	39,491	水光熱費
施設管理費	6,503	施設設備保守点検費、修繕費
事務費	1,645	通信費、事務消耗品、宣伝広告費、保険料、営業研修費
使用料	221	清掃機器リース料、受信料
その他支出	4,846	消耗品、車両費、駐車場代、タオルリース料
本社費	4,800	経理、労務管理
消費税納付額	2,605	
支出合計	81,341	